

〔様式2〕令和8年度 羽村市立羽村東小学校 学校経営計画（学校評価計画表） 学校教育目標 よく考え すすんで実行する子 ◎主体的に学び合う子

【目指す学校像】 成長を実感できる学校 ○すべての児童に居場所があり、安心して生活できる学校 ○児童が主体的に学び、確かな学力を育む学校 ○教職員が協働し高め合う学校 ○保護者・地域と連携し、心豊かな児童を育む学校

【目指す児童・生徒像】 ○ふわふわ言葉等で相手を思いやる児童 ○主体的に学び合う児童 ○粘り強く最後まで取り組む児童

【目指す教師像】 ○児童の個性を認め、価値付ける教師 ○授業改善に努める教師 ○保護者・地域から信頼される教師

前年度までの学校経営上の成果と課題【成果】・言葉の力を意識した授業改善 ・児童の基礎学力向上(算数道場) ・OJTによる人材育成 ・組織的で迅速な対応 (簡条書きで簡潔に) 【課題】・教員のさらなる授業改善(ファシリテート力の向上) ・児童の基礎学力向上 ・特別支援教育の充実 ・よりよい職場環境づくり

3つの施策	中期経営目標(施策の内容)	短期経営目標(今年度の取組)	具体的方策	「取組・努力」の評価基準(学校・教職員の姿勢、取組状況)	評定	評価方法	「成果」の評価基準(児童・生徒の変容)	評定	評価方法
小中一貫教育を柱とした特色ある教育の推進	①小中一貫教育の推進	・小中一貫教育を計画的に実施し、授業の質を高めていく。 ・全教職員による小中一貫教育への理解を深める。	・一部教科等担任制を実施し、教員の専門性を生かした分かりやすい授業を行う。 ・職員夕会等において、小中一貫教育の実践報告を行う。	【小中一貫教育の推進】肯定的な回答が80%以上	4	教員による自己評価	教科担任制の授業は分かりやすかった、と回答した5・6年児童が80%以上	4	児童アンケート
				【小中一貫教育の推進】肯定的な回答が70%以上	3		教科担任制の授業は分かりやすかった、と回答した5・6年児童が70%以上	3	
				【小中一貫教育の推進】肯定的な回答が60%以上	2		教科担任制の授業は分かりやすかった、と回答した5・6年児童が60%以上	2	
				【小中一貫教育の推進】肯定的な回答が60%未満	1		教科担任制の授業は分かりやすかった、と回答した5・6年児童が60%未満	1	
				【小中一貫教育の推進】肯定的な回答が60%未満	1		教科担任制の授業は分かりやすかった、と回答した5・6年児童が60%未満	1	
	②確かな学力の定着	・「はむらの授業指針」に基づいた授業実践及び日々の授業改善により、基礎学力の向上を図る。 ・児童が選択・決定して学ぶ授業作りを推進する。	・「はむらの授業指針」に基づいた授業実践に加え、研究授業を年4回実施する。 ・算数道場を実施する。 ・教員同士の授業改善を推進する。	【確かな学力の定着】肯定的な回答が80%以上	4	教員による自己評価	授業ではめあてや学習の流れが分かり、すすんで学習に取り組むことができた、と回答した児童が80%以上	4	児童アンケート
				【確かな学力の定着】肯定的な回答が70%以上	3		授業ではめあてや学習の流れが分かり、すすんで学習に取り組むことができた、と回答した児童が70%以上	3	
				【確かな学力の定着】肯定的な回答が60%以上	2		授業ではめあてや学習の流れが分かり、すすんで学習に取り組むことができた、と回答した児童が60%以上	2	
				【確かな学力の定着】肯定的な回答が60%未満	1		授業ではめあてや学習の流れが分かり、すすんで学習に取り組むことができた、と回答した児童が60%未満	1	
				【確かな学力の定着】肯定的な回答が60%未満	1		授業ではめあてや学習の流れが分かり、すすんで学習に取り組むことができた、と回答した児童が60%未満	1	
	③特色ある教育の推進	・地域之力(人・物・場)を活用した多様な学習環境及び児童主体の学びの場を創設し、地域を愛する心情を育み、社会に貢献できる人材の育成を図る。	・東小地域フェスティバルを開催する。	【特色ある教育の推進】肯定的な回答が80%以上	4	教員による自己評価	東小地域フェスティバルは楽しかった、と回答した児童が80%以上	4	児童アンケート
				【特色ある教育の推進】肯定的な回答が70%以上	3		東小地域フェスティバルは楽しかった、と回答した児童が70%以上	3	
				【特色ある教育の推進】肯定的な回答が60%以上	2		東小地域フェスティバルは楽しかった、と回答した児童が60%以上	2	
				【特色ある教育の推進】肯定的な回答が60%未満	1		東小地域フェスティバルは楽しかった、と回答した児童が60%未満	1	
				【特色ある教育の推進】肯定的な回答が60%未満	1		東小地域フェスティバルは楽しかった、と回答した児童が60%未満	1	
④新しい課題に対応した教育の推進	・GIGAスクール構想の実施に伴う1人1台端末やICT機器を積極的且つ効果的に活用し、指導実践の蓄積と整備を行う。	・授業における1人1台端末の活用を更に促進する。 ・GIGA研修会を年3回以上実施する。	【新しい課題に対応した教育の推進】肯定的な回答が80%以上	4	教員による自己評価	端末を使った授業や学習は楽しかった、と回答した児童が80%以上	4	児童アンケート	
			【新しい課題に対応した教育の推進】肯定的な回答が70%以上	3		端末を使った授業や学習は楽しかった、と回答した児童が70%以上	3		
			【新しい課題に対応した教育の推進】肯定的な回答が60%以上	2		端末を使った授業や学習は楽しかった、と回答した児童が60%以上	2		
			【新しい課題に対応した教育の推進】肯定的な回答が60%未満	1		端末を使った授業や学習は楽しかった、と回答した児童が60%未満	1		
			【新しい課題に対応した教育の推進】肯定的な回答が60%未満	1		端末を使った授業や学習は楽しかった、と回答した児童が60%未満	1		
⑤人権教育の推進と道徳教育の充実	・人権尊重の理念を身に付け、道徳授業の改善等を通じた人権教育を推進する。	・「はむらの道徳科授業指針」に基づいた授業を実践する中で、特に個性の伸長、親切・思いやり、生命の尊重等の心の醸成を図る。	【道徳教育の充実】肯定的な回答が80%以上	4	教員による自己評価	友達のことを思いやり、仲良く過ごすことができたと回答した児童が80%以上	4	児童アンケート	
			【道徳教育の充実】肯定的な回答が70%以上	3		友達のことを思いやり、仲良く過ごすことができたと回答した児童が70%以上	3		
			【道徳教育の充実】肯定的な回答が60%以上	2		友達のことを思いやり、仲良く過ごすことができたと回答した児童が60%以上	2		
			【道徳教育の充実】肯定的な回答が60%未満	1		友達のことを思いやり、仲良く過ごすことができたと回答した児童が60%未満	1		
			【道徳教育の充実】肯定的な回答が60%未満	1		友達のことを思いやり、仲良く過ごすことができたと回答した児童が60%未満	1		
多様なニーズに応じた教育の推進	⑥特別支援教育の推進	・すべての児童の居場所を作るため、学校がチームとなって取り組む。	・特別支援教育についての研修を行う。 ・コーディネーターを中心に校内委員会を開催し、組織的な対応をする。	【特別支援教育の推進】肯定的な回答が80%以上	4	教員による自己評価	授業が分かる」と回答した児童が80%以上	4	児童アンケート
				【特別支援教育の推進】肯定的な回答が70%以上	3		授業が分かる」と回答した児童が70%以上	3	
				【特別支援教育の推進】肯定的な回答が60%以上	2		授業が分かる」と回答した児童が60%以上	2	
				【特別支援教育の推進】肯定的な回答が60%未満	1		授業が分かる」と回答した児童が60%未満	1	
				【特別支援教育の推進】肯定的な回答が60%未満	1		授業が分かる」と回答した児童が60%未満	1	
⑦児童・生徒が楽しく通える学校の実現	・いじめの未然防止、早期発見、早期対応の徹底を図り、不登校における関係諸機関との連携や個々の実態に応じた多様で適切な支援の充実を通して、児童が楽しく通える学校を目指す。	・毎月のいじめアンケート等を活用して実態把握に努めるとともに、生活指導主任を中心に組織的に対応し、早期解決を図る。 ・別室登校部屋(スタディールーム)の充実を図る。	【子供たちが楽しく通える学校の実現】肯定的な回答が80%以上	4	教員による自己評価	学校は楽しい」と回答した児童が80%以上	4	児童アンケート	
			【子供たちが楽しく通える学校の実現】肯定的な回答が70%以上	3		学校は楽しい」と回答した児童が70%以上	3		
			【子供たちが楽しく通える学校の実現】肯定的な回答が60%以上	2		学校は楽しい」と回答した児童が60%以上	2		
			【子供たちが楽しく通える学校の実現】肯定的な回答が60%未満	1		学校は楽しい」と回答した児童が60%未満	1		
			【子供たちが楽しく通える学校の実現】肯定的な回答が60%未満	1		学校は楽しい」と回答した児童が60%未満	1		
健やかな成長を支える教育環境の整備	⑧児童・生徒理解に基づく指導体制の構築	・児童理解に基づく指導を徹底し、服務事故防止につながる組織・体制づくりに努める。	・服務事故防止研修を定期的に行い、教職員の意識向上に努める。	【児童理解に基づく指導体制の構築】肯定的な回答が80%以上	4	教員による自己評価	【児童理解に基づく指導】肯定的な回答が80%以上	4	保護者アンケート
				【児童理解に基づく指導体制の構築】肯定的な回答が70%以上	3		【児童理解に基づく指導】肯定的な回答が70%以上	3	
				【児童理解に基づく指導体制の構築】肯定的な回答が60%以上	2		【児童理解に基づく指導】肯定的な回答が60%以上	2	
				【児童理解に基づく指導体制の構築】肯定的な回答が60%未満	1		【児童理解に基づく指導】肯定的な回答が60%未満	1	
				【児童理解に基づく指導体制の構築】肯定的な回答が60%未満	1		【児童理解に基づく指導】肯定的な回答が60%未満	1	
	⑨OJTを中心とした校内研修体制の確立	・経験年数や役割に応じた研修を行い、教員としての資質向上を図るとともに、主幹教諭や主任教諭を中心とした授業力向上を目指した校内研修を実施する。	・若手教員研修を計画的に実施し、教員としての資質向上を図る。 ・校内研究の一環として、授業力向上に特化した校内研修を年3回実施する。	【OJT等校内研修体制】研修会の実施率が100%	4	研修会の実施率		4	
				【OJT等校内研修体制】研修会の実施率が80%以上	3			3	
				【OJT等校内研修体制】研修会の実施率が60%以上	2			2	
				【OJT等校内研修体制】研修会の実施率が60%未満	1			1	
				【OJT等校内研修体制】研修会の実施率が60%未満	1			1	
⑩保護者や地域住民の協力・参画	・教育活動の様子やその成果を積極的に公表し、保護者学校評価や学校評議員による学校評価の充実を図る。	・学校、学年、学級の様子を学校だよりやホームページ、学校ブログ等で積極的に発信する。	【情報の公表】肯定的な回答が80%以上	4	教員による自己評価	【教育活動の公開】肯定的な回答が80%以上	4	保護者アンケート	
			【情報の公表】肯定的な回答が70%以上	3		【教育活動の公開】肯定的な回答が70%以上	3		
			【情報の公表】肯定的な回答が60%以上	2		【教育活動の公開】肯定的な回答が60%以上	2		
			【情報の公表】肯定的な回答が60%未満	1		【教育活動の公開】肯定的な回答が60%未満	1		
			【情報の公表】肯定的な回答が60%未満	1		【教育活動の公開】肯定的な回答が60%未満	1		
学校の特色	学校の特色や独自性のある取組	・児童に自分の成長を実感させる。	・児童の成長を価値付けし、伝える。	【児童が成長を実感できた】肯定的な回答が80%以上	4	教員による自己評価	自分は成長している、と回答した児童が80%以上	4	児童アンケート
				【児童が成長を実感できた】肯定的な回答が70%以上	3		自分は成長している、と回答した児童が70%以上	3	
				【児童が成長を実感できた】肯定的な回答が60%以上	2		自分は成長している、と回答した児童が60%以上	2	
				【児童が成長を実感できた】肯定的な回答が60%未満	1		自分は成長している、と回答した児童が60%未満	1	
				【児童が成長を実感できた】肯定的な回答が60%未満	1		自分は成長している、と回答した児童が60%未満	1	